

News of Peace No.22

桜区平和を考える会

2019年12月発行



11月17日（日）第4回総会を行いました。

桜区平和を考える会は、地域の人たちと一緒に、桜区に根差して平和を守り作っていくことを目標に活動をしています。

そのために、地域の皆さんに呼びかけをして、毎月「学習会・映画会・おしゃべりカフェ」を開催しています。また「市民講座」を年に2回、原爆絵画展を8月に開催しています。取り上げるテーマは、「平和の問題・沖縄問題・原発問題・食の問題・医療問題」などです。

これからの活動の課題として、昨年十分に取り上げられなかった憲法問題に取り組みます。相変わらず、安倍首相は憲法改悪に意欲を示していますが、国民のほとんどが憲法改悪を望んでいません。戦争はもう二

度としてはいけないという国民の決意は不動のものです。みんなの声を合わせて憲法改悪をやめさせて、平和を守る活動を進めていきます。また、気球温暖化など環境問題に取り組むことも確認しました。水道民営化の動きなど、住民の生活に大きな影響がある問題についても、皆さんと問題意識を共有して活動を進めていきます。

運動が広がっていくためには、会員の拡大が必要です。活動を進めながら仲間を増やしていきたいと思えます。以上のような活動方針のもと、皆さんとともに1年間の活動を進めていきます。



映画「どうする？日本の水道」を上映！

映画「どうする？日本の水道」を見て

蛇口をひねれば、いつでもどこでもきれいに浄化された水が飲める国は、日本など十五カ国にすぎません。水道普及率や水道料金の回収率もほぼ100%に近い日本の公営水道事業は、国民にとって何

より尊い「命のインフラ」であり、公共財です。この水が企業の金儲けに利用されようとしているのをご存じでしょうか？映画「どうする？日本の水道」は、その危険性をわかりやすく訴えています。

●企業に利益—コンセッション（譲与）方式（公共施設等運営権制度）

この方式は、水道施設は自治体が所有したままで、運営を民間企業（多国籍企業）に委託するというものです。この方式では、災害時に施設が破損したときにも施設・水道管の修理は自治体の負担となるので、企業リスクは減少し、利益は企業の

ものとなります。

この方式を導入する理由は、水道事業が赤字になってしまうからというものです。しかし、さいたま市や大阪市、奈良市など水道事業で黒字を出しているところで、その動きが強まっています。

●欧米などでは再公営化の動き。しかし多額の賠償金が発生

この20年間で、世界37カ国235都市で一度民営化した水道事業を再び公営に戻しています。運営権を持つ企業が料金を大幅に引き上げたり、蛇口から汚水が出たりなど、水の安

全性や水道料金に大きな問題が出たためです。しかし、再公営化のために、企業に多額の賠償金を払わなければならない事態に陥っています。

●水道だけではない！安倍政権の公共財売却政策

種市報の廃止では、これまで公共財として自治体が守っていた種の管理・販売を企業に渡し、漁業法の改悪では、漁業権を企業に売却できるようにしたり。農地も森林も多国籍企業を中心とした民間企業が参入できるようにして、金もうけができるようにする立法が進んでいます。

安倍聖剣の政策に任せておいては、私たちの命を守ってきた公共の財産が、根こそぎ企業に売り渡され、金もうけの手段にされてしまいます。さいたま市の水道民営化（コンセッション方式）の動きは、裏で相当進んでいます。「民営化反対」の声を急いで上げなければなりません。

※総会の前に、PARC（特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター）作成の映画上映会をしました。映画を見た方から、見て考えたこと、感想を寄せていただきました。

「認知症サポーター養成講座」に参加して

2019年12月14日開催

7月15日に開催された「おしゃべりカフェー認知症について」の中で、「認知症サポーター」というものがあることを知りました。早速、養成講座の受講の申し込みををしました。

会場は、さいたま市中央区の与野イオンに近い「埼玉精神神経センター」という所でした。ただ、当初の10月12日に予定されていた講座

の10月12日に予定されていた講座は、台風19号の接近により中止の連絡が入り、12月14日に変更となりました。それでも、60名ほどが集まりました。年齢層は30代から70代で、女性が約8割でした。

高齢者が増えてきていて、高齢化率（65歳以上の人口が総人口に占める割合）で社会を見ると、1970年

に高齢化社会（7～14％）になり、1995年には高齢社会（14～21％）を迎え、2007年には高齢者が21％以上占めるようになり、超高齢者社会に日本は到達したそうです。その中で、認知症と思われる人が、2012年で462万人、今後2020年に620万人、2025年には700万人に達するとのことでした。

このことから、2005年に認知症サポーターキャラバンが始まり、サポーターの人数は、全国で1148万人（埼玉県では47万人）になってる



そうです。

認知症の人への対応として、次の”3つの「ない」”の心得が必要とのことでした。1 驚かさない、2 急がせない、3 自尊心を傷つけない

約1時間半ほどでしたが、有意義な講習でした。私には90歳に近い母親もいますし、また自分自身にしても、とても他人事には思えません。この講座は、2カ月に1回くらいの頻度で開催されますので、是非ともお勧めしたいです。（会員のYさん）

認知症サポーター養成講座を受講してもらった「埼玉県認知症サポーター証」とオレンジリング（認知症の人とその御家族を支援する、連繋の「印」になるような地域がつくられることを目指しています）

大変！美しい島宮古島が自衛隊基地だらけに されようとしています



映画「宮古島からのSOS」を見て、すごく大変なことが起こっていることがわかりました。山が

なく川がない宮古島なので、飲料水は地下水のみに頼っています。

島に基地が作られると、軍事施設の排出する薬剤や汚染水に地下水が汚されてしまう危険があるそうです。それが一番困ることとしました。今現在も工事車両の洗車のために、大量の汚染水が垂れ流されているそうです。

また、食料品は自給では足りませ

ん。島外から運んでくるので、空港も港も島の人々の生命線です。台風が来るとスーパーが品薄になるほどです。港や空港が軍事化されると、食糧の運び入れはできなくなってしまわないかという不安は、取越し苦労でしょうか。また、宮古島の人々の心のよりどころ、信仰の地である「うたき」（注）が削られてしまっていることに、とても悲しい思いをさせられました。

基地を作るのは国を守るためといいますが、島の人々の信仰の地を踏み荒らし、生命を脅かしては何の意味もないと思います。

（注）うたき（御獄）とは、森（ムイ）、城（グスク）、拝所（ウガンジュ）など”聖地”の総称で、神様が、降り立つ場所とされています。

こういうことを内地の新聞も、テレビもちっとも報道をしてくれません。遠くの島のことだと知らぬふりを決め込んで、宮古島のSOSを無視しています。しかし、それは自分たちにも振りかかってくる問題であると、木更津

のオスプレー配備や山口、秋田のイーゼス・アショアの配備などが教えてくれています。知ろうとすること、知ることとはとても大事だと思います。

※「会」主催の「宮古島からのSOS」上映会（5月25日と6月9日）に参加された方から、感想を寄稿していただきました。「宮古島からのSOS」は森の映画社（藤本幸久・影山あさ子共同監督）が2018年に作成したものです。



切り抜き帳



「自民・公明両党は12日2020年度の与党税制改正大綱を決めた。税制による経済成長の後押しを狙い、企業に投資を促すための優遇税制を新たに設けることが柱。

消費税率10%の引き上げに続き年明けから政府は一部会社員の所得税を実質引き下げる制度改正に踏み切る。大綱は、個人に負担増を迫る一方で大企業を優遇する政府与党の姿勢を鮮明に映し出した」（東京新聞）

アベノミクスは大企業主導の経済波及効果で個人の懐も潤うと言ってきた。しかし、この7年間で大企業の収益は拡大したが、賃上げは、物価の上昇に追いつかず、生活は苦しくなっている。30年前に比べると法人税や、最高税率の引き下げにより所得税の税収が減ってしまっている。経済力に見合った税負担（応能主義）を求めなければ格差はますます広がってしまう。

【会の活動報告】

11月17日（日） 第4回総会（土合公民館）
映画「どうする？日本の水道」
第1回運営スタッフ会議

11月26日（火） 事務局会議（栄和公民館）

【これからの予定】

12月15日（日） おしゃべりカフェ（大久保東公民館）
第2回運営スタッフ会議



桜区平和を考える会発行

ホームページは「桜区平和」で検索！

[Http://spa.g1.xrea.com/](http://spa.g1.xrea.com/)

連絡先：090-8588-4966（今井）、090-4433-7092（小高）
090-6120-3411（佐藤）

●会費：送金先
郵便振替講座 番号00270-8-104990
口座名義 桜区平和を考える会



ホームページ
QRコード